

2022年7月1日

各 位

会社名 株式会社 キャンバス
代表者名 代表取締役社長 河邊 拓己
(コード番号：4575 東証グロス)
問合せ先 取締役最高財務責任者 加登住 眞
IR@canbas.co.jp

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年8月13日公表の2021年6月期決算短信において、2022年6月期（2021年7月1日～2022年6月30日）の通期業績予想を非開示としておりました。このたび、2022年6月期の業績予想数値について下記のとおり公表いたしますので、お知らせします。

1. 2022年6月期通期（2021年7月1日～2022年6月30日）業績予想数値

	事業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期（2021年6月期）実績（A）	108	△547	△555	△531	△70.01
今回修正予想（B）	-	△860	△871	△872	△90.01
増減額（B-A）	△108	△313	△316	△341	

（注）2022年6月期通期業績予想を非開示としていたため、規定に従い比較対象を前期実績としています。負の数どうしの比較となるため、増減率の表示を省略しています。数値は表示未満切捨。

2. 修正の理由・その他投資者が会社情報を適切に理解・判断するために必要な事項

(1) 事業収益

当社の事業収益は、提携契約等の締結に至った場合やマイルストーンが達成された場合に当該収入の及ぼす影響が大きく事前の合理的予測が困難なことから、業績予想を非開示としています。

2022年6月期においては、CBS9106提携に基づき2021年6月期まで受領していた技術アドバイザリーフィーの期間が終了した（ライセンス契約は有効に継続し、開発も継続されています）一方で、同化合物の開発進捗に伴い発生する可能性のあるマイルストーン収入の実現には至りませんでした。

また、臨床第2相試験段階にある化合物CBP501をはじめとする各開発パイプラインについて製薬企業等との提携による収益の獲得も図ってまいりましたが、2022年6月期中の実現には至りませんでした。

(2) 事業費用

当社の事業費用は、推進中のCBP501臨床第2相試験の進捗による影響が大きく事前の合理的予測が困難なことから、業績予想を非開示としています。

2022年6月期においては、おちに第4四半期（2022年4月～6月）にCBP501臨床第2相試験ステージ1の被験者登録が当初の予測を上回るペースで進捗し、2023年6月期の発生を見込んでいた臨床開発費の一部が2022年6月期中に発生したことにより、研究開発費が増加しました。

現時点の事業費用見通し約860百万円（前期実績656百万円に対し約204百万円増）のうち、臨床開発費は約453百万円（前期実績260百万円に対し約193百万円増）を見込んでいます。

基礎研究費（前期実績170百万円）・販売費及び一般管理費（同226百万円）に関しては、前期とほぼ同額からやや微増にとどまる見通しです。

以上